

## 2020年度 家庭・地域教育助成 助成者一覧

### 【研究】

	代表者名	所属機関 団体名	課題名	助成額
1	青木 宏展	千葉大学	2D/3Dデジタルデータを活用した新たな地域文化の学習手法の導出	¥900,000
2	石橋 美香子	東京大学	親のやり抜く力（グリット）と子どもの注意の制御との関連性	¥900,000
3	井澤 和夫	神戸大学	親のヘルスリテラシーはその幼児の睡眠習慣に関係するか？	¥750,000
4	内海 美由紀	日本大学	美術館における「託児サービス」は“排除”か“インクルージョン”か	¥260,000
5	榎本 恵理	びわこ学院大学短期大学部	紙芝居の語りと効果的実践に向けての研究－絵本との比較を通して－	¥600,000
6	太田 素子	和光大学	長州藩海村における家族構造と子育て――熊毛郡曾根村水場浦戸籍控の研究	¥700,000
7	大橋 さつき	和光大学	「つながり」を保ち続けるための遊び活動―地域子育て支援施設を拠点に―	¥800,000
8	川波 亜紀子	千葉大学	出生コホート調査による母子関係・児の発達に関する縦断研究	¥900,000
9	久保田 愛子	宇都宮大学	社会参画意識を育む学校行事体験の検討―地域社会の担い手育成を目指して	¥500,000
10	河野 通之	徳島県つるぎ町立貞光小学校	「子ども集団歩き遍路」システムの検討―「応答」の生成過程に着目して―	¥900,000
11	小島 道生	筑波大学	発達に遅れのある子どもの「ことば」を育てる親子遊びの開発・普及	¥700,000
12	今 由佳里	鹿児島大学	「はないちもんめ」に関する研究 ―歌問答・旋律・遊びの比較を通して―	¥600,000
13	島田 浩二	福井大学	地域子育て支援者育成システムの持続可能性を探る	¥900,000
14	司城 紀代美	宇都宮大学	インクルーシブな保育実践から考える小学校の「交流及び共同学習」のあり方	¥300,000
15	橋 那由美	聖泉大学	企業主導型保育施設における保育内容充実プロセスの可視化	¥200,000
16	谷口 あや	神戸大学大学院生	父母ペアデータを用いた養育スタイルと子どもの発達に関する縦断的検討	¥700,000
17	當銘 美菜	目白大学	外国につながる子どもの「見えない」ニーズに応える支援に関する調査研究	¥650,000
18	中村 雅子	東京都市大学	子どもを主体とした地域メディア活動による新しい学びの分析	¥900,000
19	則近 千尋	東京大学大学院生	幼児の思いやり感情制御場面を支える親の対他感情制御の発達の影響の検討	¥900,000
20	濱田 栄作	琉球大学	へき地離島で次世代につなぐ防災教育のあり方に関する基礎的研究	¥600,000
21	番匠 一雅	田園調布学園大学	「こどものまち」活動が児童・家族に与える効果についての日独比較調査研究	¥900,000
22	弘田 陽介	福山市立大学	子どもの表情・感情を「見える化」するシステムの精緻化研究	¥900,000
23	ポーター 倫子	ワシントン州立大学	現代の育児雑誌におけるしつけに関する専門家の助言	¥600,000
24	森口 佑介	京都大学	新型コロナウイルスによる社会の変化が子どもの自制心の発達に及ぼす影響	¥750,000
25	本島 優子	山形大学	乳児期におけるポジティブ情動の発達：養育環境の役割を探る	¥600,000
26	山住 勝広	関西大学	地域における対話と協働を通じた世代間交流型の防災学習の研究	¥900,000
27	八木 孝憲	福島学院大学	里親が“親”になる過程と里父と里母の役割についての質的研究	¥900,000
28	湯澤 美紀	ノートルダム清心女子大学	with/after コロナの時代に生きる子どもの育ちをわらべうたで支える	¥700,000

### 【実践活動】

	代表者名	所属機関 団体名	課題名	助成額
1	浅田 大輔	NPO法人大山千枚田保存会	棚田地域における稲作文化と酪農文化を普及啓発するための食農活動	¥700,000
2	市川 恵	早稲田大学	地域性を踏まえた表現文化活動の展開とその可能性	¥800,000
3	照山 龍治	「地域の色・自分の色」研究会	「色」という視点で、身の回りから、「地域の宝物」を掘り起こす取り組み	¥700,000